

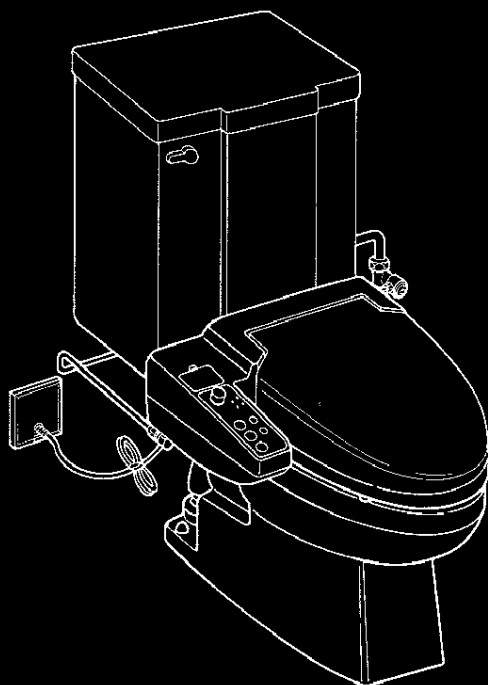
ウォシュレットHX

ホテル用洗淨脱臭暖房便座

TCF520/521

TOTO

取付説明書



も く じ

1 はじめに.....	1	7 設置完成図.....	5～8
2 安全上の注意.....	1	8 取付方法.....	9～26
3 取付前の注意.....	1	(便器の後ろにカウンターがない場合の取付け)...	9～15
4 各部の名称.....	2	(フルエプロン式の場合の取付け).....	16～21
5 部品の確認.....	3	(ハーフエプロン式の場合の取付け).....	22～26
6 仕 様.....	4	9 試運転.....	27～29

1 はじめに

- (1)製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。
- (2)使用方法ラベルについては、ホテル側と十分確認を行い指示された場所に正しく貼付けてください。
また、ご愛用のしおりについては、ホテル側へお渡し願います。

2 安全上の注意



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⚠ 警告 1.アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。(感電するおそれがあります)
- ⚠ 警告 2.中水道や工業用水の水道に接続しないでください。(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。)
- ⚠ 警告 3.電源コード(VCTF)をステップルなどで固定しないでください。
(被覆をいため感電や火災のおそれがあります。)



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⚠ 注意 1.連結管を折曲げたり、つぶしたりしないでください。(漏水するおそれがあります。)

3 取付前の注意

- (1)ユニットバスのタイプによって取付けるウォシュレットが異なります。
取付けに当っては、2ページのユニットバス対応ウォシュレットHX一覧表で品番をご確認の上、工事を行ってください。

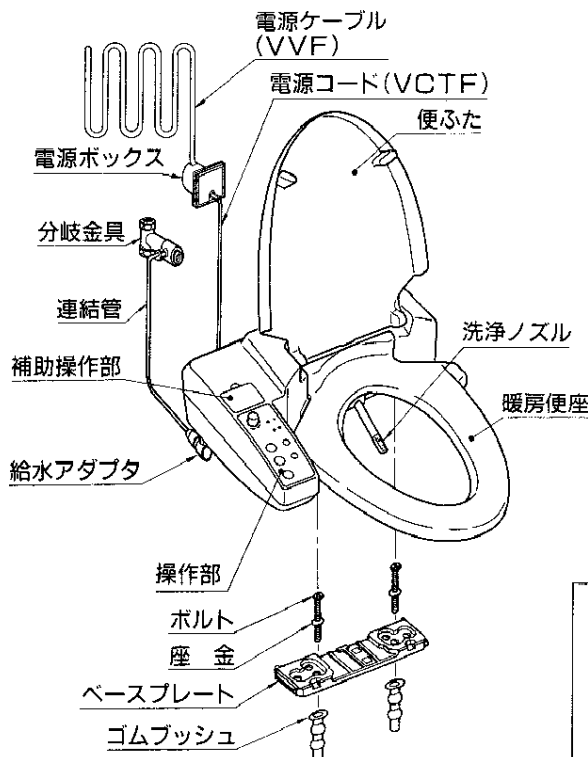
※ユニットバス1室に対し、ウォシュレットは部材が2梱包に分かれています。
梱包箱1 (TN54-2) ……ウォシュレットに接続する連結管
梱包箱2 (TCF520 ほか) ……ウォシュレット本体
- (2)電源には必ず、ウォシュレット専用配線と専用の漏電遮断器(高速・高感度形)を設けてください。
- (3)電源は、交流100V (50/60Hz)、最大消費電力は647Wです。必ずこれに適した配線をしてください。
- (4)給水範囲は0.05MPa (0.5kgf/cm²) ~0.74MPa (7.5kgf/cm²) です。この圧力範囲でご使用ください。
- (5)器具への通電及び通水は、本体を便器へ取付けてから行ってください。
- (6)電源ボックスの取付位置は、当社の標準ユニットバスに設置させる場合、壁下端から200mmまたは250mmが標準高さとなります。(P10、17、23を参照ください)
当社特殊ユニットバスや他社のユニットバスに取付けの際は、ユニットバス床面から150mm以上の高さで壁裏に配管などが無い位置に取付けてください。また、意匠につきましてもホテル側と十分確認を行い指示された場所に正しく取付けてください。

ユニットバス対応ウォシュレットHX

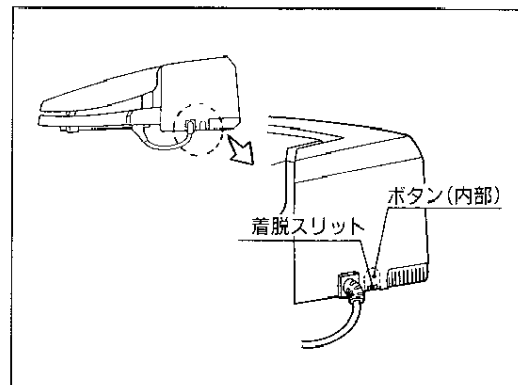
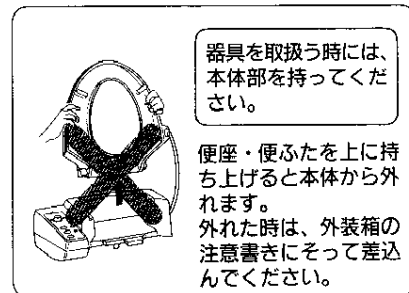
UBタイプ		ウォシュレット	ウォシュレットHX本体	
			エロンゲートサイズ	レギュラーサイズ
			TCF521	TCF520
便器の後ろに カウンターがない場合		EGM 1624 1620	○	—
		EQG/V 1624 1620	○	—
便器の 後ろに カウンター がある場合	ハーフ エプロン式	ERM/K 1620	○	—
		ERM/Z 1418 1218	—	○
	フル エプロン式	ERG/V 1620	○	—
		ERG/V/W/C 1418 1218	—	○
		EHN/K 1418 1218	—	○

※ウォシュレットHXは右操作タイプのみです。

4 各部の名称

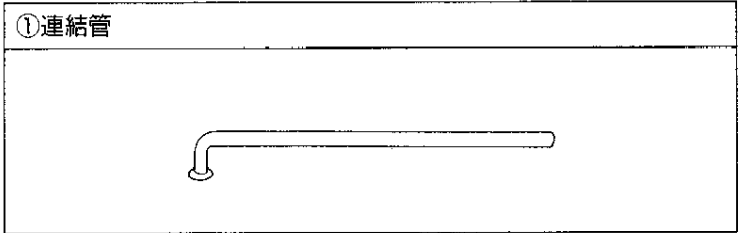


- ※電源コード (VCTF: ビニルキャブタイヤ丸形
コード 3×1.25mm²)
- ※電源ケーブル (VVF: 600Vビニル絶縁ビニル
シースケーブル平形
3×1.6mm)



5 部品の確認

(1) 梱包箱 1 より商品を取り出し、次の部品があることを確認してください。



(2) 梱包箱 2 (TCF520、TCF521) より商品を取り出し、次の部品があることを確認してください。

① ウォシュレット本体

② ベースプレート部品

ベースプレート (ストッパー付)	ボルト (2ヶ)	座金 (2ヶ)	ゴムブッシュ (2ヶ)

③ 分岐金具	④ 給水アダプタ	⑤ 電源ボックス固定用ねじ (4ヶ入)	⑦ 使用方法ラベル ご愛用のしおり (保証書含む) 同封
		⑥ ブッシュ (2ヶ入)	

仕 様

項 目		内 容	
定 格		交流100V、625W、50/60Hz	
1時間当りの標準消費電力量		39Wh (1日3回使用で年間平均)	
電源コード/ケーブル長さ		電源コード：ビニルキャブタイヤ丸形コード (VCTF) 3×1.25mm ² L=1800mm 電源ケーブル：600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル平形 (VVF) 3×1.6mm L=3500mm	
洗浄装置	洗浄水量	おしり洗浄	0.3~1.0L/min (水圧0.2MPa (2.0kgf/cm ²) のとき) 調節可
		ビデ洗浄	0.3~1.0L/min (水圧0.2MPa (2.0kgf/cm ²) のとき) 調節可
	温 水 温 度	約37.5°C (固定)	
	ヒ ー タ 容 量	500W	
	洗 浄 方 式	ムーブ洗浄機能付	
暖房便座	表 面 温 度	約36.0°C (固定)	
	ヒ ー タ 容 量	84W	
脱 臭 装 置		オゾン脱臭	
使用条件	使 用 水	上水	
	最低必要給水圧力	0.05MPa (0.5kgf/cm ²)	
	最高給水圧力	0.74MPa (7.5kgf/cm ²)	
	設 置 ユ ニ ッ ト	換気機能付ユニット	
周 囲 使 用 温 度 範 囲		0~40°C	
製品寸法	エロンゲートサイズ	幅 52×奥行 53×高さ 16 (cm)	
	レギュラーサイズ	幅 52×奥行 50×高さ 16 (cm)	
製 品 質 量		7.7kg	

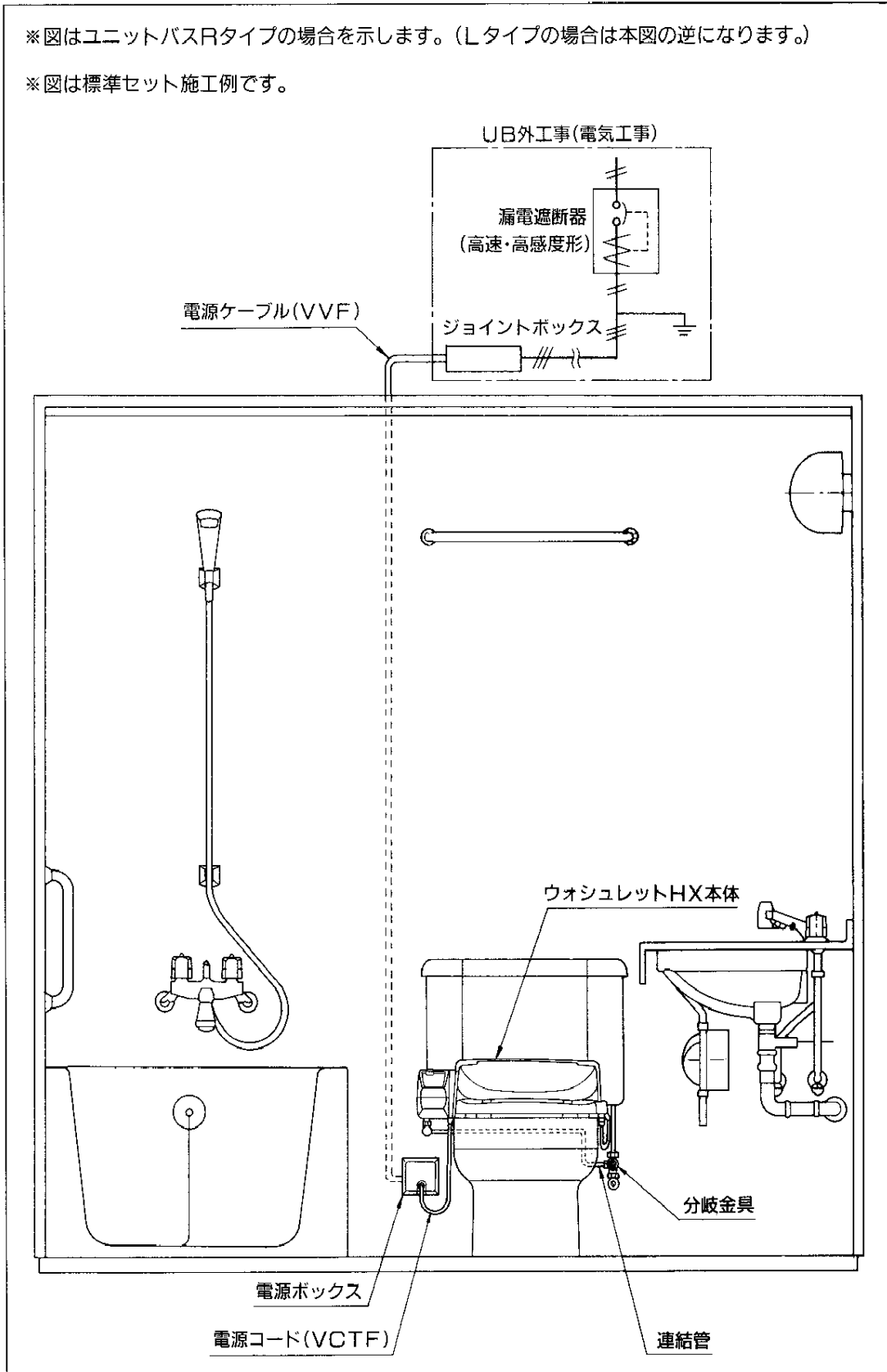
7 設置完成図

1. 便器の後ろにカウンターがない場合

1-1 EGM1624・1620タイプの場合

※図はユニットバスRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合は本図の逆になります。)

※図は標準セット施工例です。

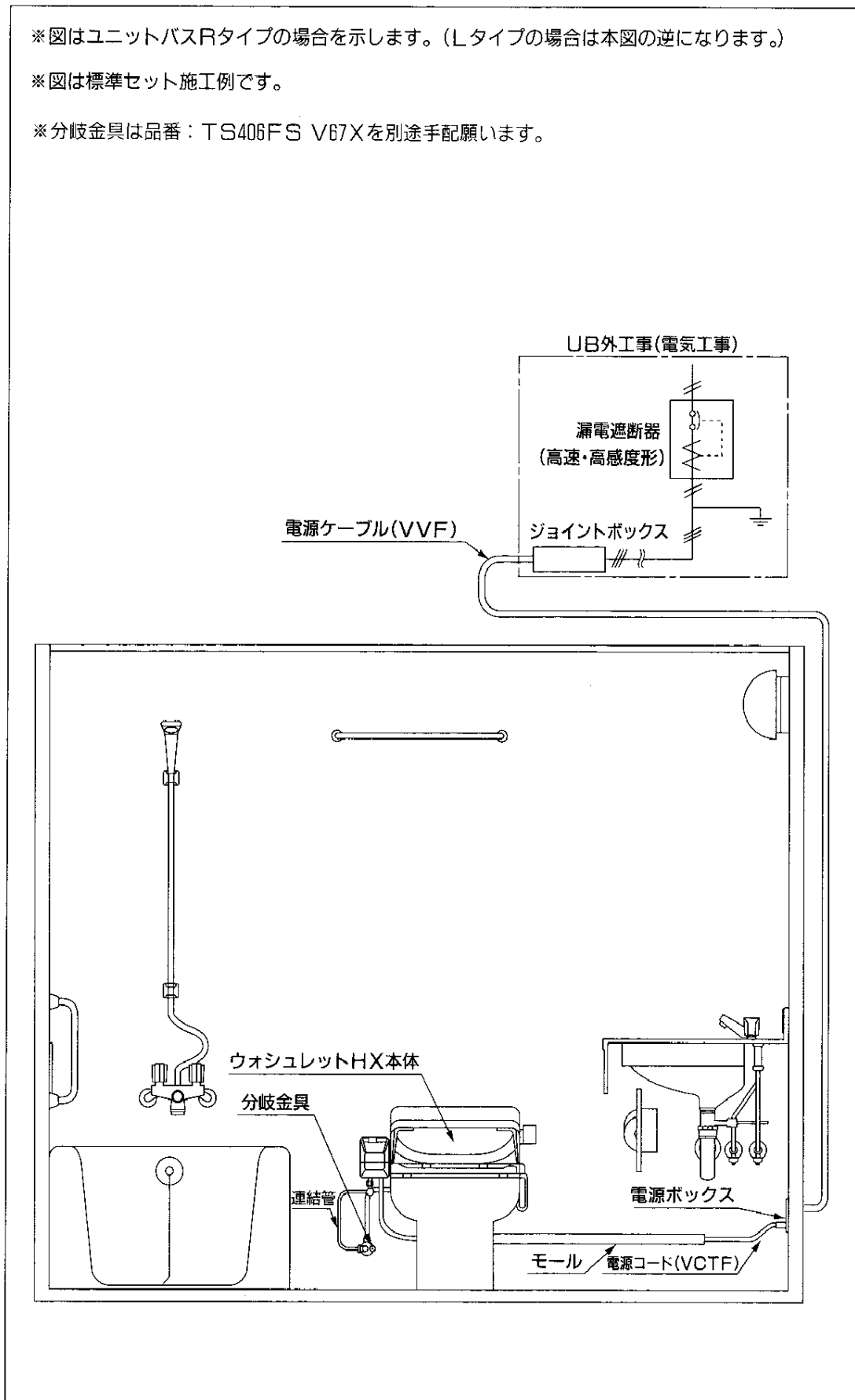


1-2 EQG/V 1624・1620タイプの場合

※図はユニットバスRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合は本図の逆になります。)

※図は標準セット施工例です。

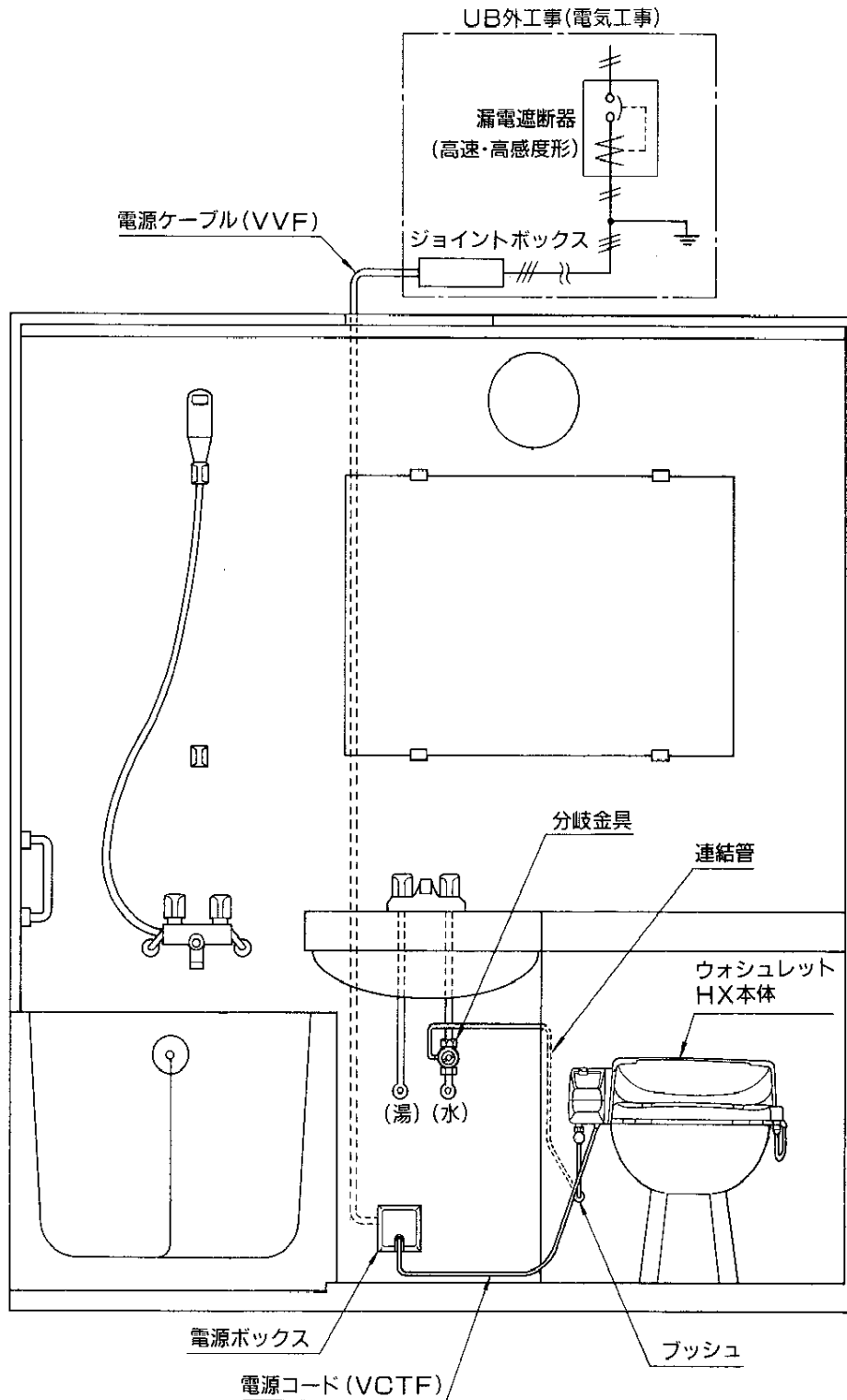
※分岐金具は品番：TS406FS V67Xを別途手配願います。



2-2 ハーフエプロン式(ERM/K 1620, ERM/Z 1418・1218)の場合

※図はユニットバスRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合は本図の逆になります。)

※図は標準セット施工例です。



8 取付方法

1. 便器の後ろにカウンターがない場合

対象品番：EGM 1624・1620, EQG/V 1624・1620

新設現場の場合/既設現場の場合

※図はユニットバスRタイプの場合を示します。

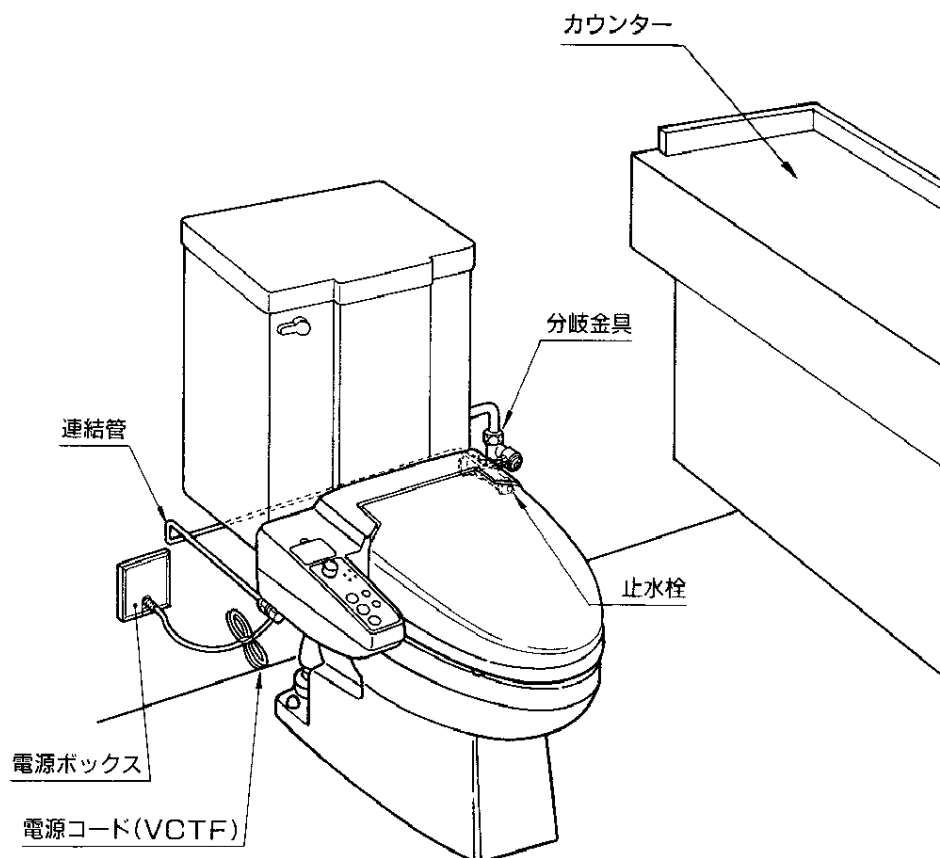
※図は標準セット施工例です。(EGM 1624・1620)

※EQG/V 1624・1620はカウンター下の短辺側の壁に電源ボックスは付きます。

※EQG/V 1624・1620の場合は、電源ボックスをとりつける前に壁にゴム製の台座をつける必要があります。

ゴム製の台座および固定用ねじは別途手配願います。

(台座 部品番号:EK K597, 固定用ねじ 部品番号:EK943(トラス+4×30 T, P SUS) 4本)



※便器洗浄水に上水が使用されている場合を示します。

便器洗浄水に中水が使用されている場合は、別途上水の止水栓が必要となります。

(1)電源ケーブルと電源ボックス本体取付け

①電源ボックス取付穴あけ作業 既設現場のみ

※電源ボックス取付位置については、壁裏配管や補強材の位置、意匠などの確認が必要なためあらかじめ現場と調整しておいてください。

a. 取付け穴位置をケガいてください。

※代表タイプの標準取付け位置を下記に示します。

電源ボックス取付穴あけ位置

※EGM 1624・1620の標準取付寸法

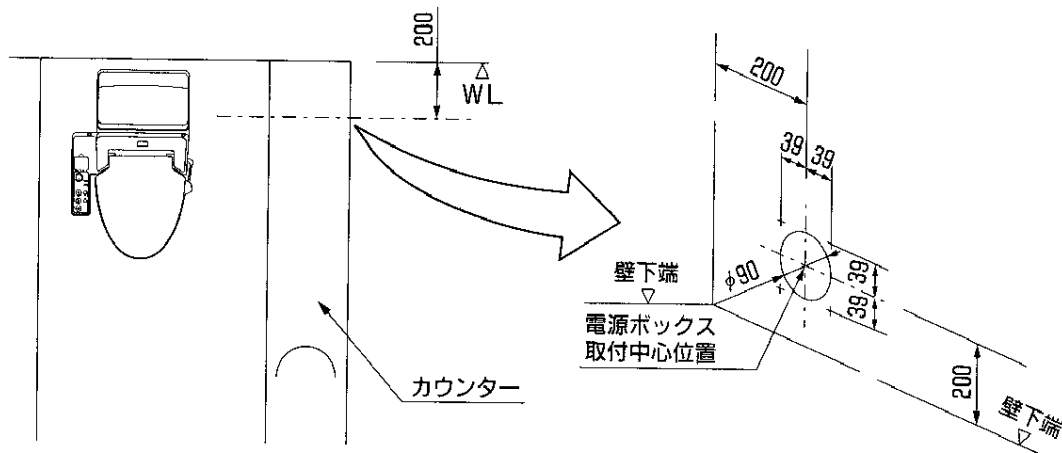
寸法 UBの勝手	A	
	Rタイプ	Lタイプ
UBタイプ EGM 1624	1350	1350
EGM 1620	1050	1050

穴あけ位置	Rタイプ	Lタイプ

※EQG/V 1624・1620の標準取付寸法

カウンター下の短辺側の壁に電源ボックスを取付けてください。

取付け時には、必ず電源ボックスと壁の間に台座（別手配）を入れ、シリコン塗布を忘れないようにしてください。



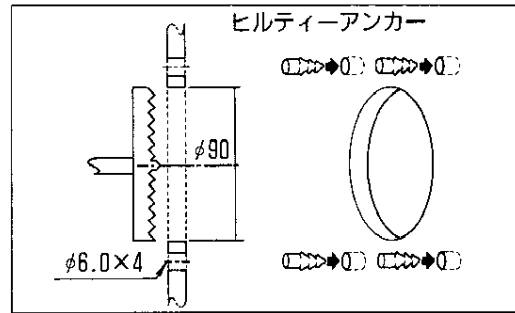
b. 電源ボックス取付穴をあけてください。

タイル壁の場合

ホルソー:電源ボックス取付径 $\phi 90$ …………… 1ヶ所
ドリル:電源ボックス固定用ねじ下穴 $\phi 6.0 \times 4$ ヶ所
ヒルティールアンカー (別手配のこと)…………… 4ヶ

※ヒルティールアンカー取付けは、新設現場の場合も同様となります。

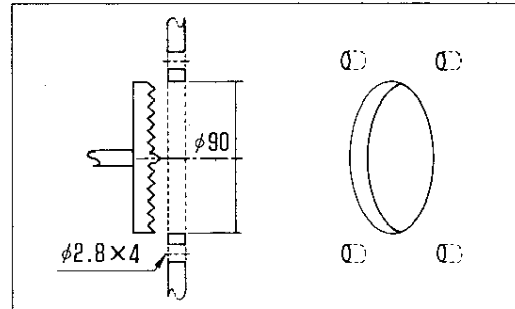
※ $\phi 90$ の穴をあけるホルソーを準備してください。



ハイクオリティパネル・塩ビ鋼板壁の場合

ホルソー:電源ボックス取付径 $\phi 90$ …………… 1ヶ所
ドリル:電源ボックス固定用ねじ下穴 $\phi 2.8 \times 4$ ヶ所

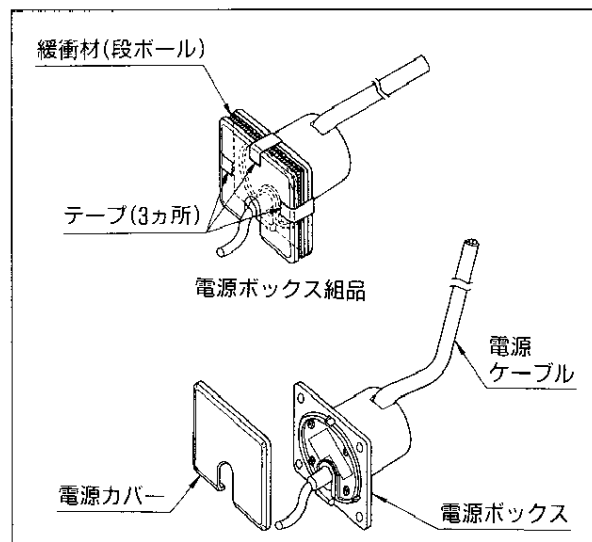
※穴をあけたのち、切屑が残らないように掃除してください。



以降の項目は新設現場、既設現場共通となります。

②電源ボックス組品のテープを3ヶ所取り、緩衝材(段ボール)を取外して電源カバーと電源ボックス本体に分けてください。

※テープの跡が残らないようきれいに剝いでください。

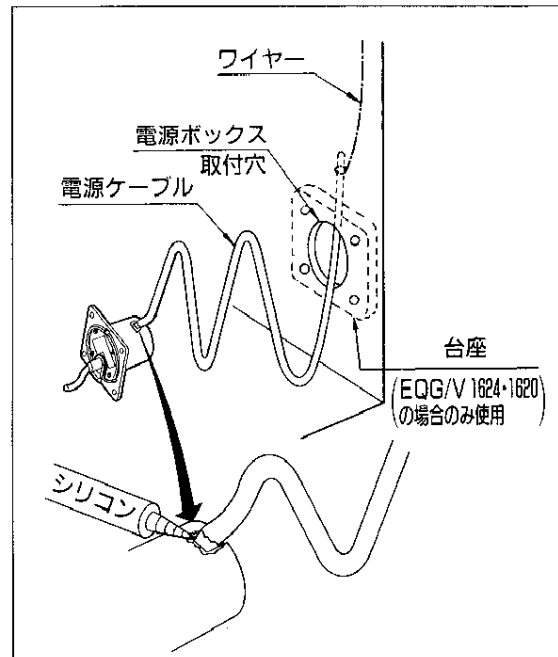


③電源ボックス取付穴(φ90)に電源ケーブルを通して
ください。

※あらかじめ天井裏より、入線用呼び線やピアノ線
などのガイド用ワイヤーを通しておくと電源ケー
ブルをスムーズに引き上げることができます。

※施工中に電源ボックスに水がかかるおそれがある
場合は、電源ボックスの開口部にシリコンなどで
水が入らないようにシールしてください。

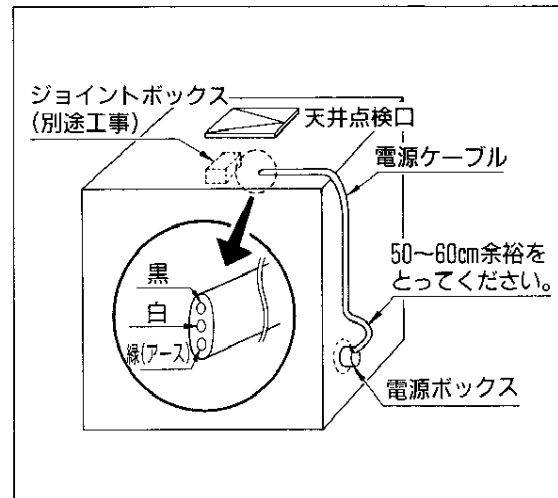
※UBタイプがEQG/V 1624・1620の場合は、先に
台座の電源ボックス取付穴(φ90)に電源ケー
ブルを通してから壁の電源ボックス取付穴(φ90)に電
源ケーブルを通してください。



④電源ケーブルを壁裏配線し、電源ケーブル末端を天
井裏のジョイントボックス近くまで配線してくださ
い。

※天井裏のジョイントボックス設置位置及び電源ケー
ブル末端位置については、あらかじめ現場と調整
しておいてください。

※メンテの時に電源ボックスを取外すことがありま
すので、電源ケーブルは壁裏または天上裏に50~
60cm余裕をとって配線してください。



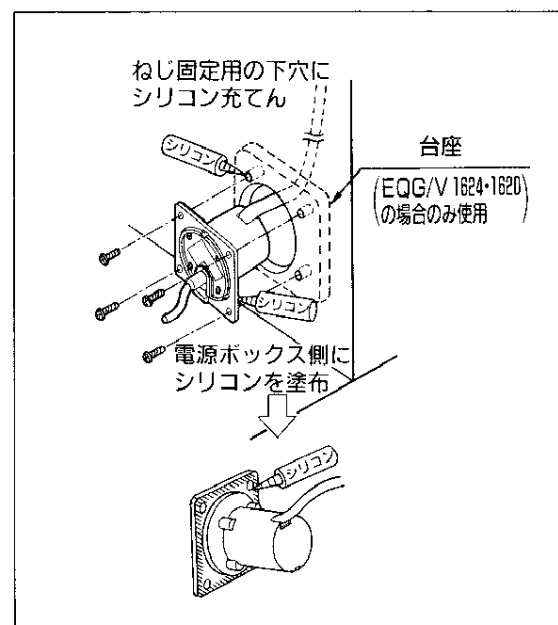
⑤電源ボックス取付穴に電源ボックス本体を取付けて
ください。(固定用ねじ4ヶ所)

※電源ボックス側にシリコンを塗布してください。

※ねじ固定用の下穴にシリコンを充てんした後、ね
じ固定してください。

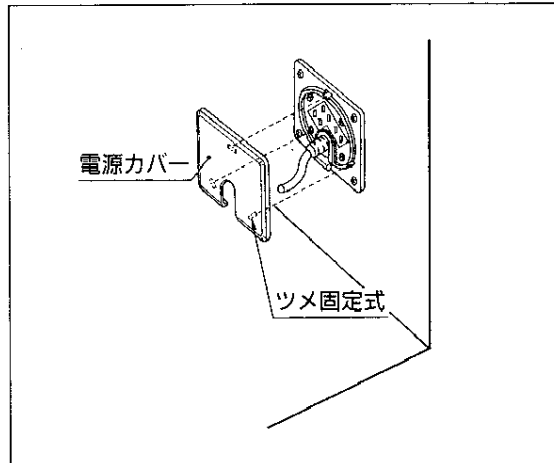
※UBタイプがEQG/V 1624・1620の場合は、壁と
電源ボックスの間に台座を入れ、台座と一緒に電
源ボックスを固定してください。

(固定用ねじは別途手配してください)



⑥電源カバーを電源ボックス本体に取付けてください。

※電源カバーは、ツメ3ヶ所で固定されますので確実に固定してください。

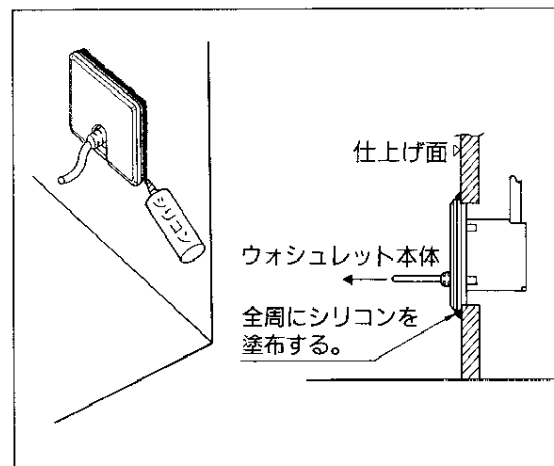


⑦電源カバーの全周にシリコンを塗布してください。

※シリコンを塗布する際には、仕上げ面を汚すおそれがありますので、マスキングテープなどを利用して行ってください。

※最後に、ハミ出した不要なシリコン剤をきれいに拭きとってください。

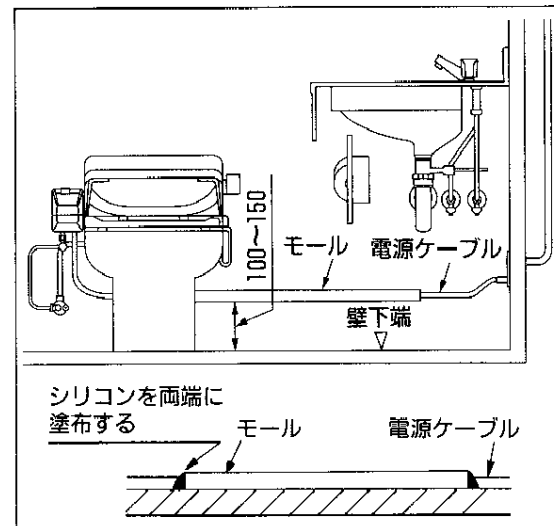
※UBタイプがEQG/V 1624・1620の場合は、電源カバーと台座の両方の全周にシリコンを塗布してください。



⑧電源コード(VCTF)の処理

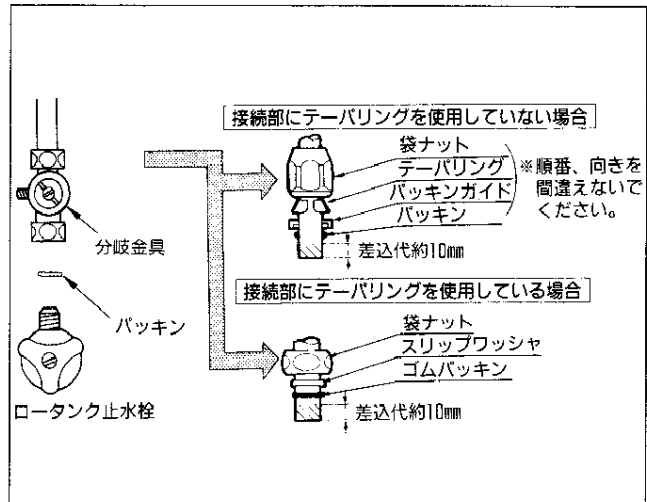
EQG/V 1624・1620のみ

- モールのふたをはずし、壁下端から100~150mmの高さにモール本体3~5ヶ所でビス固定してください。
- 固定したモール本体に電源ケーブル(VCTF)を通し、モールのふたをはめてください。
- モールの両端にシリコンを塗布してください。



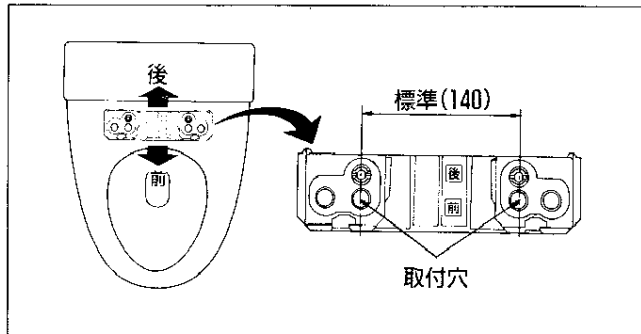
(2)ウォシュレット用分岐金具を止水栓本体に接続してください。

- ①ロータンク止水栓を⊖ドライバーで閉めてください。
 - ②袋ナットをスパナで取外してください。
 - ③分岐金具を右図のように接続してください。
 - ④給水管は、10mm程度の差込代を確保して切断したのちに分岐金具に接続してください。
- ※分岐金具接続の際は、分岐金具止水栓が前側に向けた状態にセットしてください。

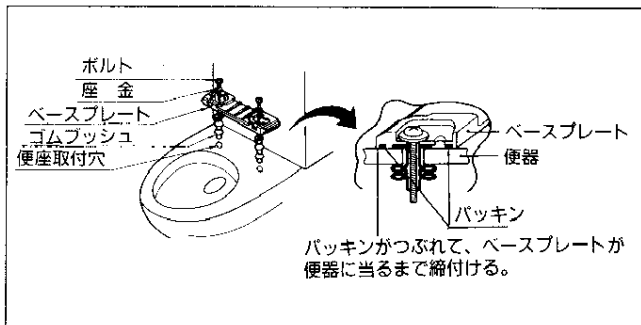


(3)ウォシュレット本体の便器への取付け

- ①ベースプレートの取付穴の確認をしてください。
前後と表示している方が表側です。
前と表示している方を、便器の先端側に向けます。

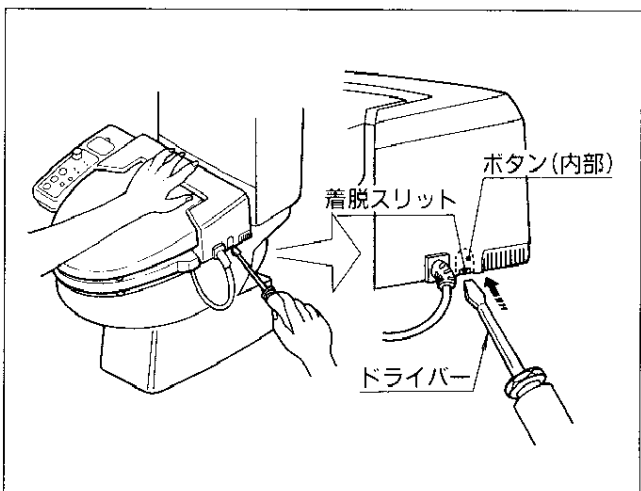


- ②ボルト、座金、ゴムブッシュをセットしたベースプレートを、便器の便座取付穴に差込み、ボルト頭を押してゴムブッシュを挿入し、上面からドライバーでボルトを仮締めして便器に固定してください。
 (ゴムブッシュが差込みにくい場合は、ゴムブッシュ表面を水で濡らしてください)

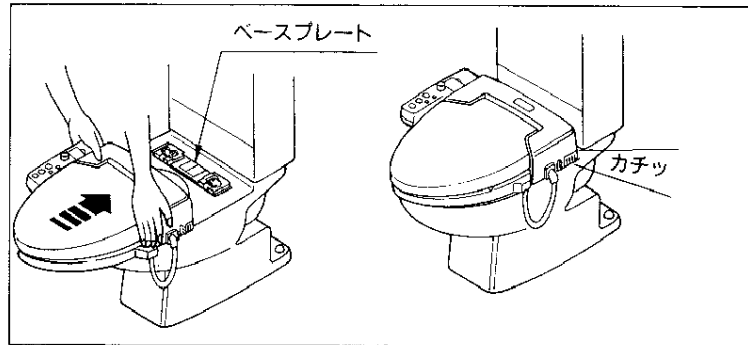


- ※ベースプレートはゆるく仮止めし、便座本体がまっすぐに取付くことを確認してから本締めしてください。本体は着脱スリット内のボタンを⊖ドライバーで押しながらケースカバーの中心を手で持ち手前に引くと外れます。

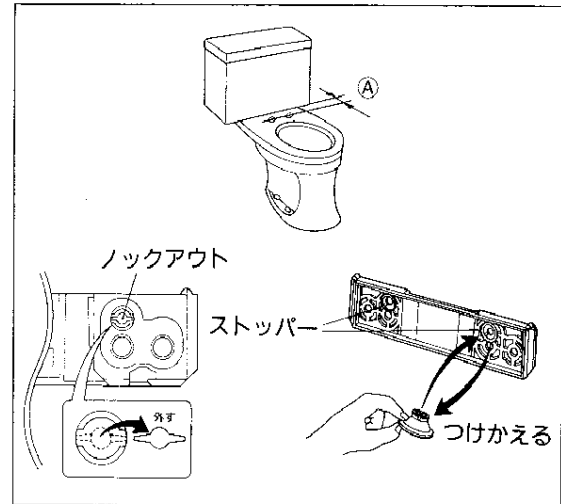
- ※ボルトはベースプレートが便器に当たるまで締付けてください。



- ③その後、ベースプレートのスライド溝とケース本体の溝の位置を合せ便器の上をすべらすようにして奥にスライドさせて「カチッ」と確実に本体がベースプレートに固定されるまで押込んでください。



- 取付穴の寸法間隔が140mmのもので、右図④が65mm程度の便器の場合または、便座が確実に自立しない(便座が便ふたより離れた位置で自立する)場合はノックアウト部分を取外してください。
- ベースプレートについているストッパーを、ノックアウト部を取外した穴へつけかえてセットしてください。



(4)ウォシュレット本体と分岐金具を連結管で接続

- ①連結管を分岐金具と本体の接続部との位置にあわせて曲げた後、切ってください。

※連結管の曲げは、あらかじめ針金などで確認し、それにそって曲げると容易に取付けられます。

※連結管はつぶれないように曲げてください。

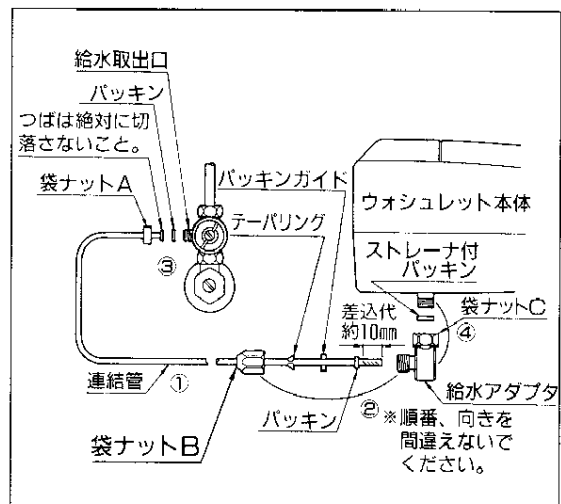
※連結管の切断はパイプカッターを使用してください。切断後は必ず水洗いを行ない切粉を取り除いてから接続してください。

- ②給水アダプタと連結管を右図の通り接続してください。

※袋ナットBを手で強くねじ込んだ後、さらに1回転以上ねじ込んでください。

- ③分岐金具の給水取出口と連結管を袋ナットAで確実に締付けてください。

- ④ウォシュレット本体と給水アダプタの袋ナットCを確実に締付けてください。



取付けは完了しましたので、試運転を行ってください。試運転の要領については27~29ページを参照ください。

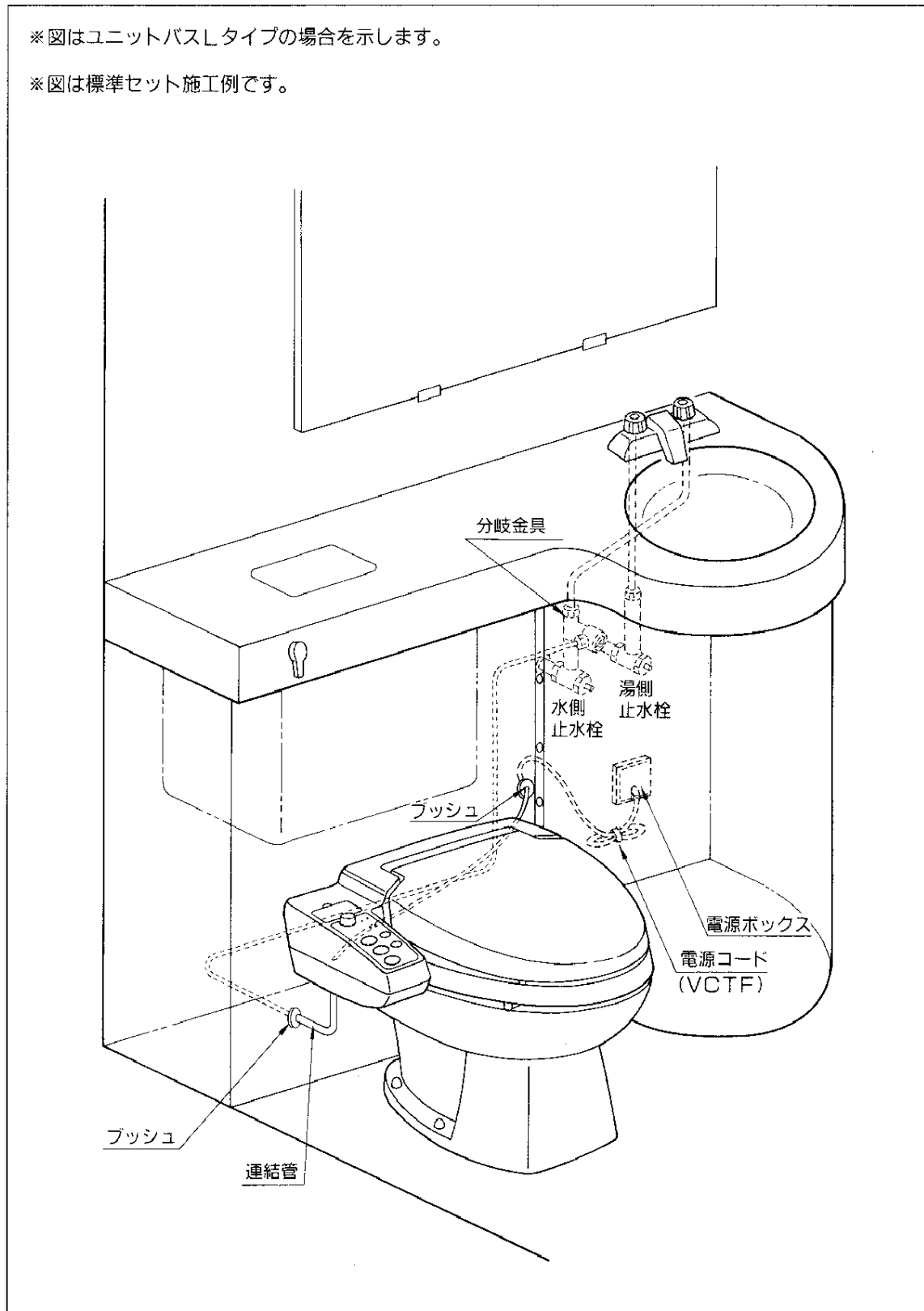
2. 便器の後ろにカウンターがある場合

2-1 フルエプロン式(ERG/V 1620, ERG/V/W/C 1418・1218, EHN/K 1418・1218)の場合

新設現場の場合/既設現場の場合

※図はユニットバスLタイプの場合を示します。

※図は標準セット施工例です。



(1)電源ケーブルと電源ボックス本体取付け

①電源ボックス取付穴あけ作業 既設現場のみ

※電源ボックス取付位置については、壁裏配管や補強材の位置、意匠などの確認が必要のためあらかじめ現場と調整しておいてください。

a. 取付け穴位置をケガいてください。

※代表タイプの標準取付け位置を下記に示します。

電源ボックス取付穴あけ位置

※代表タイプの標準取付寸法

UBタイプ	寸法	A	
	UBの勝手	Rタイプ	Lタイプ
EHN/K 1418・1218		980	980
ERG/V 1620		1150	1150
ERG/V/W/C 1418・1218		900	900
穴あけ位置			

b. 電源ボックス取付穴をあけてください。

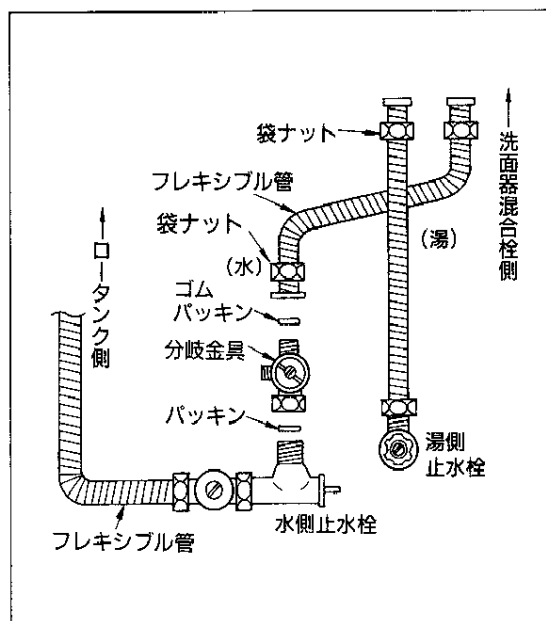
穴あけ要領は11ページb項と同様です。

以降の電源ケーブルと電源ボックス本体取付けは、新設現場、既設現場共通となります。

取付要領は、11ページ⑥項～13ページ⑦項と同様です。

②洗面器及びロータンク側フレキシブル管と止水栓の間にウォシュレット用分岐金具を接続してください。

- ①洗面器側止水栓を⊖ドライバーで閉めてください。
- ②袋ナットをスパナで取外してください。
- ③分岐金具を右図のように接続してください。
 - ※分岐金具は必ず水側止水栓に接続してください。
 - ※分岐金具止水栓が前側に向けた状態にセットしてください。



③カウンターエプロンの穴あけ作業 既設現場のみ

- ①穴あけ位置をケガいてください。
 - ※代表タイプの標準穴あけ位置を下記に示します。

カウンターエプロン穴あけ位置

※代表タイプの標準取付寸法

UB勝手 寸法	Rタイプ					Lタイプ				
	連結管用		電源コード用			連結管用		電源コード用		
UBタイプ	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
EHN/K 1418・1218	320	570	400	590	50	320	80	400	590	50
ERG/V 1620	320	643	420	660	5	320	160	420	660	5
ERG/V/W/C 1418・1218	150	500	420	536	5	150	40	420	536	5

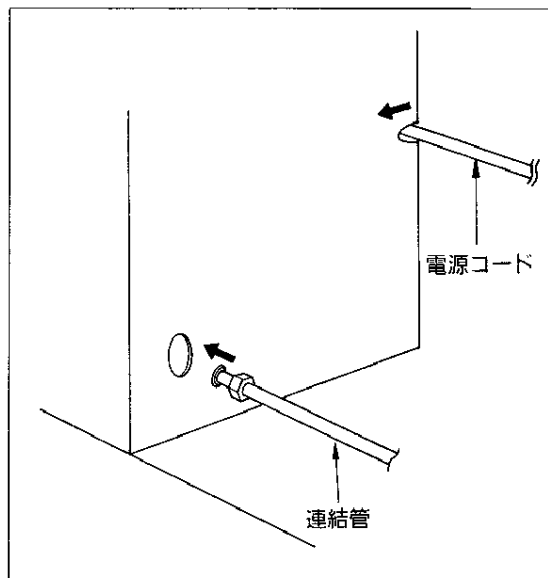
穴あけ位置	Rタイプ	Lタイプ

②カウンターエプロンに連結管用と電源コード用の穴をあけてください。

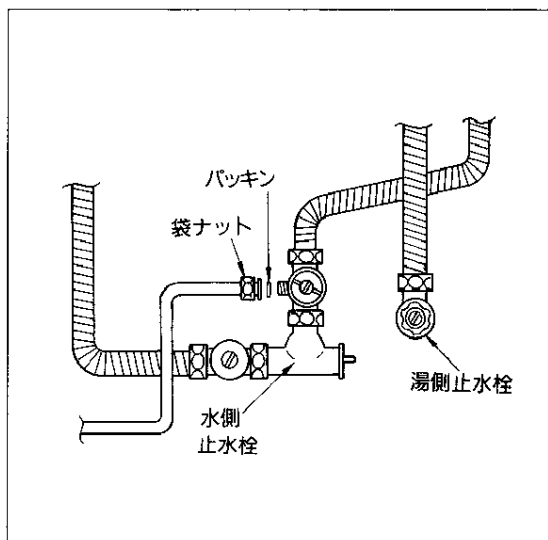
※穴をあけたのち、切屑が残らないように掃除してください。

以降の項目は新設現場、既設現場共通となります。

(4)連結管と電源コードをエプロンの穴に通してください。



(5)連結管を分岐金具に接続してください。

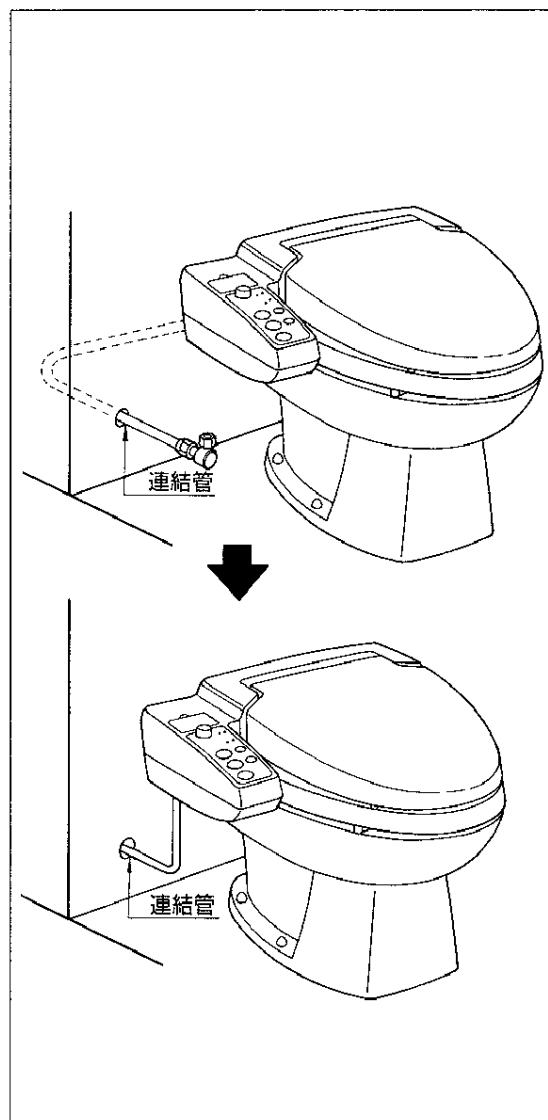


(6)ウォシュレット本体を便器にセットしてください。

セット要領は14ページ(3)項と同様です。

(7)連結管をウォシュレット本体に接続してください。

接続要領は15ページ(4)項と同様です。

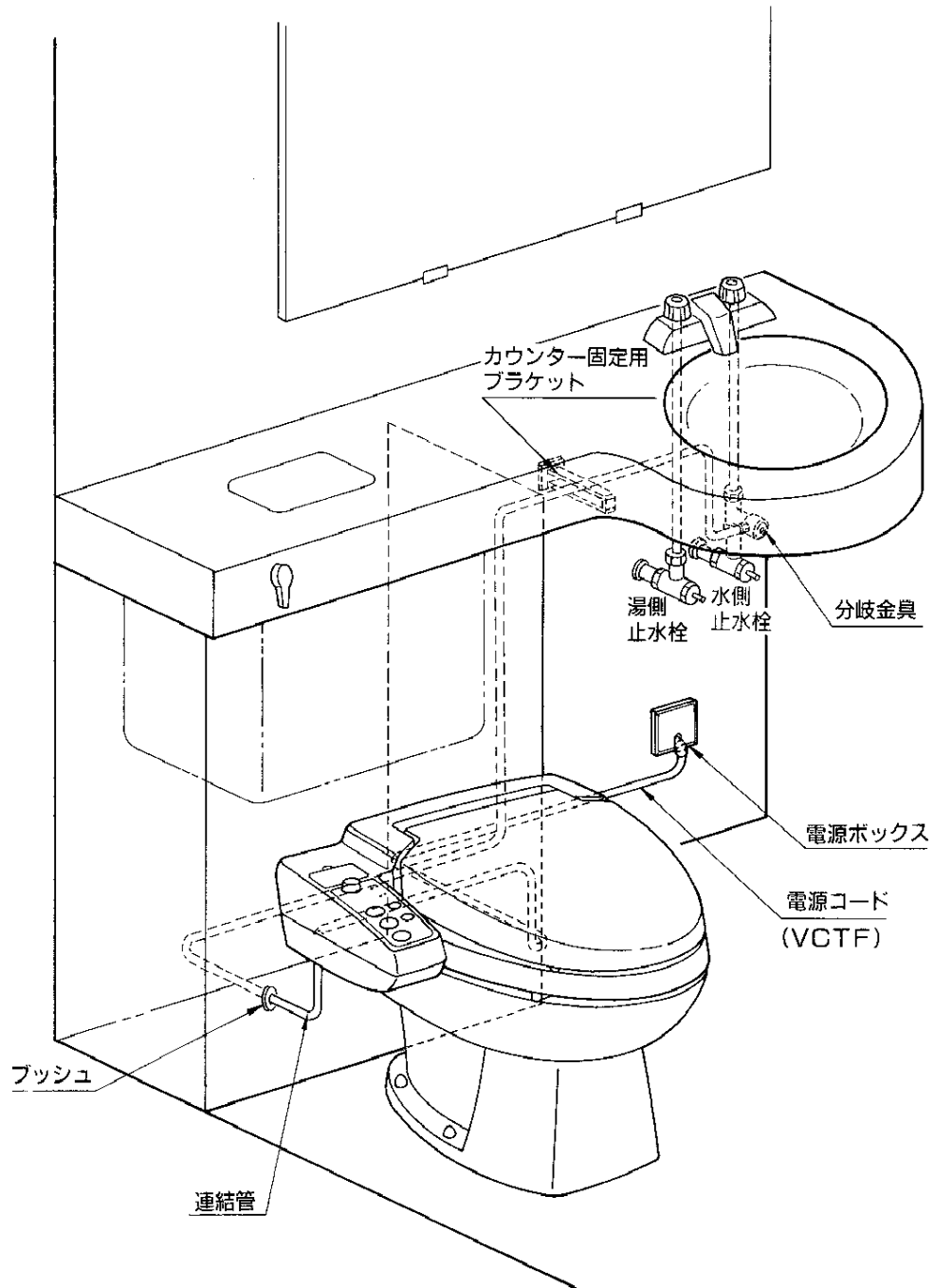


2-2 ハーフエプロン式(ERM/K 1620, ERM/Z 1418・1218)の場合

新設現場の場合/既設現場の場合

※図はユニットバスLタイプの場合を示します。(Rタイプの場合は本図の逆になります。)

※図は標準セット施工例です。



(1)電源ケーブルと電源ボックスの本体取付け

①電源ボックス取付穴あけ作業 既設現場のみ

※電源ボックス取付位置については、壁裏配管や補強材の位置、意匠などの確認が必要なためあらかじめ現場と調整しておいてください。

a. 取付け穴位置をケガいてください。

※代表タイプの標準取付け位置を下記に示します。

電源ボックス取付穴あけ位置

※代表タイプの標準取付寸法

UBタイプ	寸法	A	
	UBの勝手	Rタイプ	Lタイプ
ERM/K 1620		1150	1150
ERM/Z 1418・1218		1000	1000
穴あけ位置			

b. 電源ボックス取付穴をあけてください。

取付け要領は11ページb項と同様です。

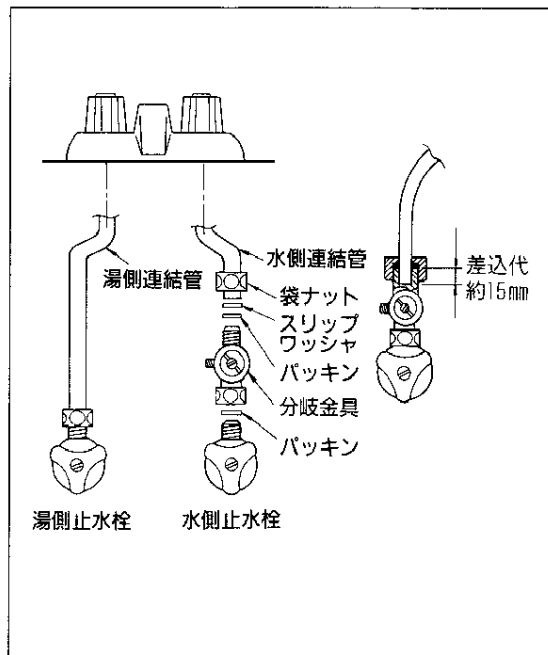
以降の電源ケーブルと電源ボックス本体取付けは、新設現場、既設現場共通となります。

取付要領は、11ページ②項～13ページ⑦項と同様です。

(2)ウォシュレット用分岐金具を止水栓本体に接続してください。

- ①洗面器側止水栓を閉めてください。
- ②袋ナットをスパナで取外してください。
- ③分岐金具を図のように接続してください。

※分岐金具は必ず水側止水栓に接続してください。
 ※分岐金具止水栓が前側に向いた状態にセットしてください。



(3)カウンターエプロンの穴あけ作業 既設現場のみ

- ①穴あけ位置をケガいてください。
- ※代表タイプの標準穴あけ位置を下記に示します。

カウンターエプロン穴あけ位置

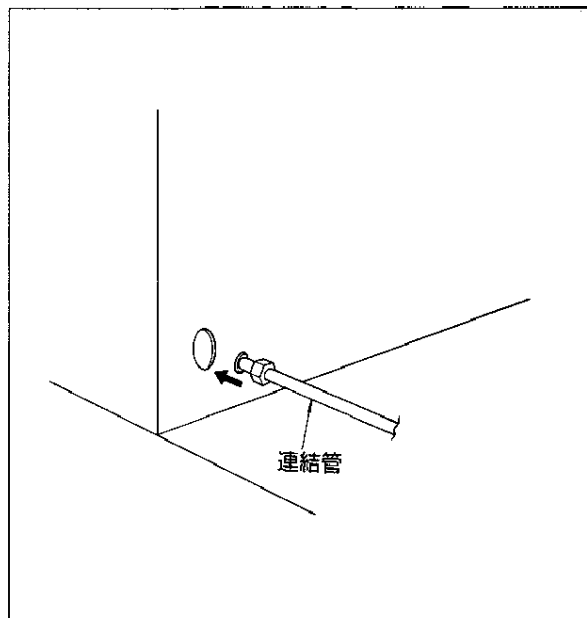
※代表タイプの標準取付寸法

UB勝手 寸法	Rタイプ 連結管用		Lタイプ 連結管用	
	A	B	A	B
ERM/K 1620	340	270	340	270
ERM/Z 1418・1218	320	220	320	270
穴あけ位置				

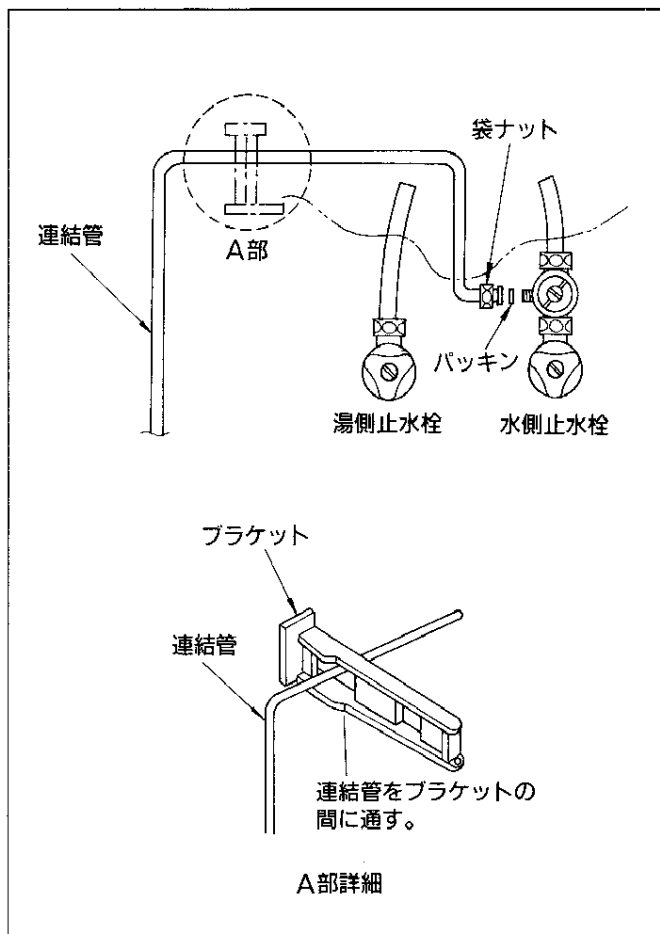
- ②カウンターエプロンに連結管用の穴をあけてください。
- ※穴をあけたのち、切屑が残らないように掃除してください。

以降の項目は新設現場、既設現場共通となります。

(4) 連結管をエプロンの穴に通してください。



(5) 連結管をカウンター固定用ブラケットの間を通し、分岐金具に接続してください。

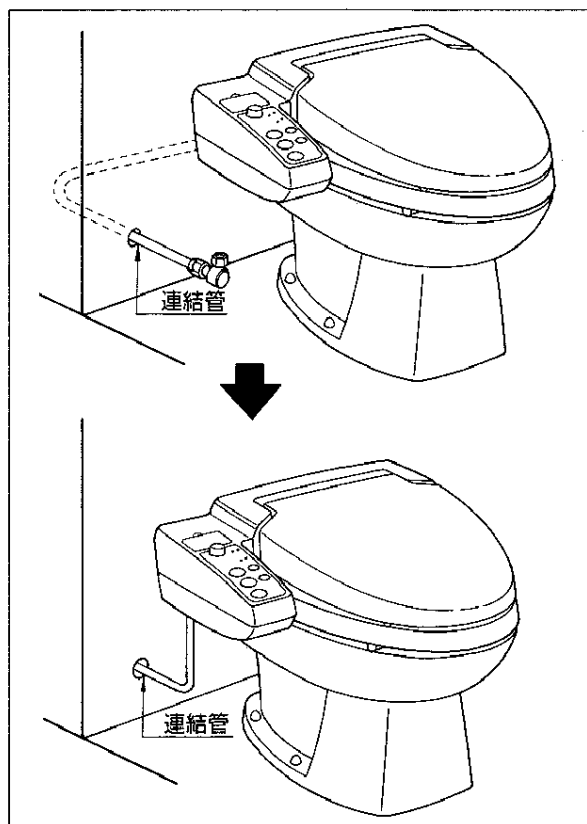


(6)ウォシュレット本体を便器にセットしてください。

セット要領は14ページ(3)項と同様です。

(7)連結管をウォシュレット本体に接続してください。

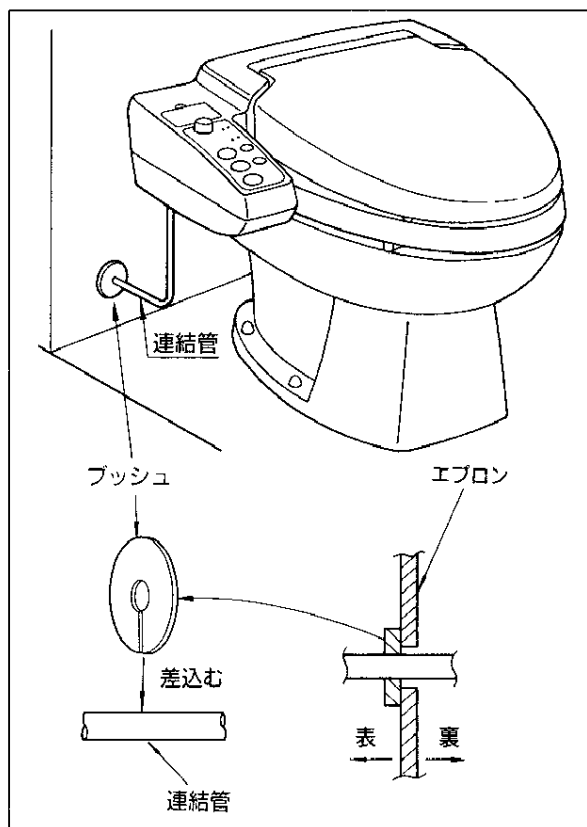
接続要領は15ページ(4)項と同様です。



(8)ブッシュを連結管に差込み、エプロンに固定してください。

※ブッシュの固定はエプロン表面の汚れを取除いた後、裏のセパレート紙を剥がして貼付けてください。

※ブッシュの切れ目はできるだけ見えにくい位置（下向き）にしてください。



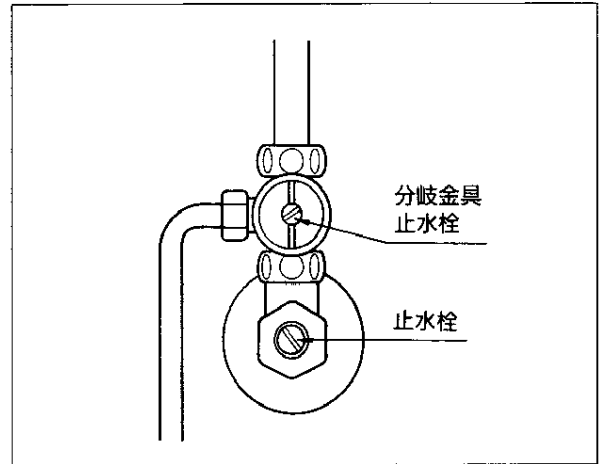
取付けは完了しましたので、試運転を行ってください。試運転の要領については、27～29ページをご参照ください。

9 試 運 転

取付けが完了したら、次の方法で試運転を行ってください。

(1)水漏れの点検

洗面器の水側止水栓及び分岐金具止水栓を開き、配管から漏水がないことを確かめてください。



(2)電源の通電と初期動作確認

交流100V（50/60Hz）を製品へ通電してください。

※ノズルが出て戻る初期動作を行なうか確認してください。

※操作部の温水ランプと便座ランプが点灯していることを確認してください。

(3)動作確認

①着座センサを作動させてください。

- 腕をできるだけ広くびったりと便座に接触させてください。
- ※腕を便座から離すと着座センサは切れます。
- ※先端部は着座センサが作動しにくくなっています。

※次の②③の確認は着座センサを作動させた状態で行ってください。

②洗浄機能を確認してください。

〈確認ポイント〉

- ノズルから吐水するか。(タンクが空のときは吐水するまでに約1分かかります)
※ノズル左側の排水口から水が出る場合は水抜きレバーを閉位置に移動させてください。
- おしり・ピテ共に適温の温水がでるか。(通電して温水になるまで約5分かかります。) 水勢が変化するか。
- 洗浄時、ムーブスイッチを押すとノズルが揺動し、もう一度押すと揺動が止まってふつ々の洗浄に戻るか。
- ノズルの動きは正常か。
(スイッチを押すとノズルを洗ったのち、ノズルが出ます。止を押すとノズルが引っ込みノズルを洗います。)
- 本体から水漏れはないか。
- 止スイッチを押すと止まるか。

③脱臭機能を確認してください。

〈確認ポイント〉

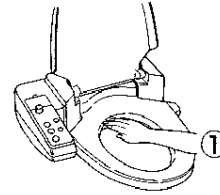
- 着座センサを作動させると本体ケースの右側から風が出ているか。

④暖房便座機能を確認してください。

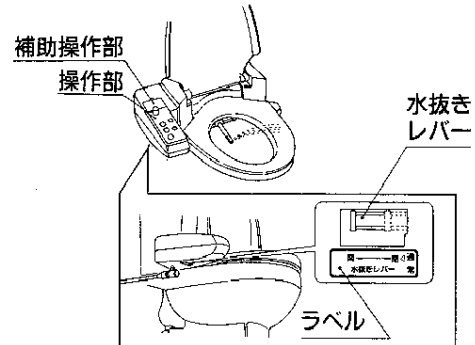
〈確認ポイント〉

- 便座が暖まっているか。(通電して暖まるまで10～15分かかります。)
- ※操作部の便座ランプが点灯していない時は補助操作部の便座入/切スイッチを「入」にし、便座ランプが点灯することを確認してください。

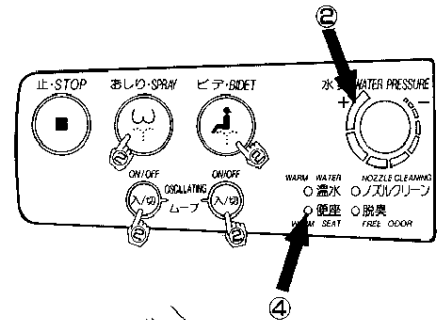
①着座センサ



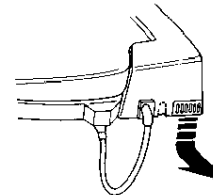
②洗浄



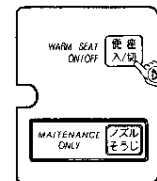
操作部



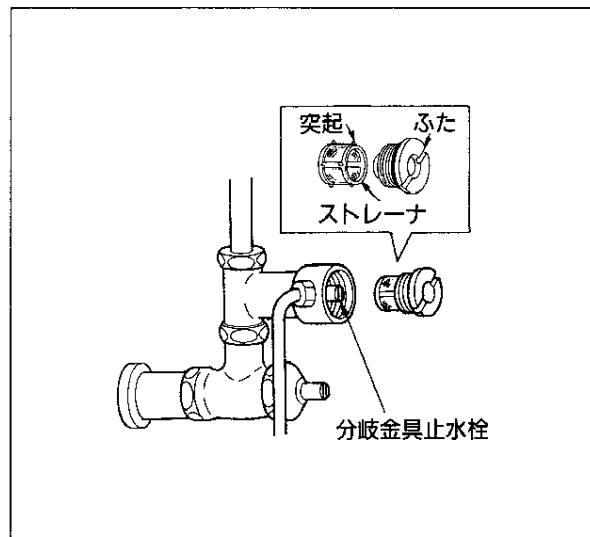
③脱臭



補助操作部



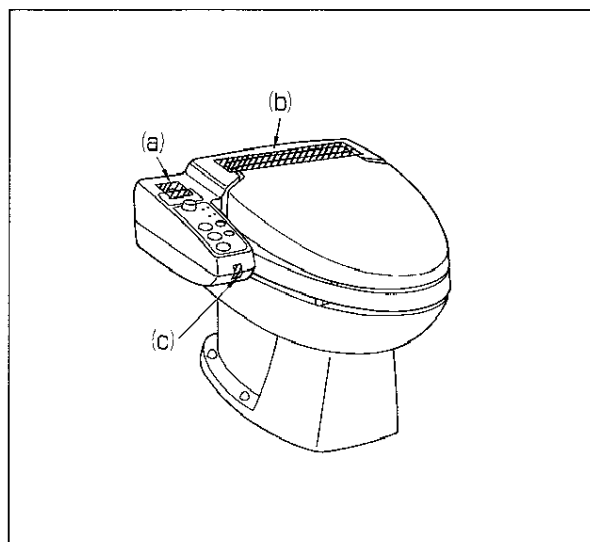
⑥ストレーナに水あかやゴミが詰まると適正な性能が得られなくなりますので、試運転後、分岐金具止水栓を閉じたのち、ふたを外し、必ずストレーナを掃除してください。



以上の確認作業が終わりましたら、ウォシュレットの試運転は完了です。

ウォシュレット本体の清掃及びユニットバスルーム内の清掃を行ってください。

※ウォシュレット本体に貼付けている注意札及びセロハンテープ(a)(b)(c)を跡が残らないように剝いてください。



商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

アフターサービスについてのご用命は東陶メンテナンス部へ



0120-1010-05

受付時間9:00～20:00